

君は本気になったか？

努力を継続する精神力を！



緑高祭も終わり、また大部分の人が部活動を引退しました。自分の進路実現のための気持ちの切り替えはできてきましたか。

さて、先週6月23日（木）5・6限目に進路講演会が行われました。当日は保護者の方も55名来校され、みなさんとともに講師にお招きした駿台予備学校全国入試模試センター長、吉田直史先生の「折れない心！～全ては貴方のホンキ次第！～」の講演をお聞きしました。

吉田先生はユーモアを交えながら、80分の講演予定時間を10分以上オーバーして、熱意を込めて、なぜ成績が伸びないのか・大学入試の現状・難関大学の魅力・センター試験と個別試験・最後まで頑張ることの大切さ・これからの学習の仕方について・合格するために心構えなどについて講演してくださいました。

講演後に教室に戻ってみなさんが書いた感想にも「先生のお話を聞いてやる気になった」「自分の甘さを知り、気持ちを切り替えて頑張ろうと思う。」「大変刺激を受けた。スマホは志望校に合格するまで封印したい。」などこれから前向きに頑張ろうという感想が多く見られました。私はみなさんにとって吉田先生の講演会は、気持ちを切り替え、本気で受験勉強に取り組む体制を作り、自分の進路実現を達成する最後の啐啄同時（逃してはいけない好機）になると思っています。

あれだけ緑高祭でパワフルに活躍し、部活動を最後までやりきったみなさんです。きっとみなさんは自分の進路実現のために最後まで頑張れると思います。

そのためには、まずは出来ることからやってみましょう。それは限られた大学入試までの時間を最大限に確保して勉強することです。そのためには集中力を持続させる妨げとなる無駄なことに時間を使わないように環境を整備することが一番大切です。最大の勉強の妨げとなるものは何でしたか？それはスマートフォン・携帯電話でした。スマートフォン・携帯電話を使って遊んでしまい集中力が持続できなかったことが最近では大学入試に失敗した原因の第5位に入っていました。

みなさん一人一人の自分の目標を達成するために学習環境を整える第一歩として、**「登校したらスマートフォン・携帯電話の電源は学校を出るときまでオフにしよう。」**そう呼びかけたいと思います。そしてみなさん一人一人が限られた大学入試までの時間を最大限に確保して進路実現を達成しましょう。

吉田先生の講演の要点をもう一度確認し、自分の進路実現に向けてまずはアクションを起こしましょう。吉田先生の**「大切なのは才能ではなく「努力を継続する精神力」です。」**という言葉を一一人が胸に刻んで。

・やってはいけない受験勉強の失敗ワースト5

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 受験勉強開始が遅かった | 2 受験を甘く考えていた |
| 3 基本的学習の不足 | 4 計画的学習が出来なかった |
| 5 集中力が続かなかった（スマホ） | |

- ・安易な妥協をしない→不本意入学者・退学者が増加している！→「入れる大学」でなく「入りたい大学」へ！
- ・本当にやりたいことを自分の職業にしたいなら難関大学を目指しなさい。
- ・私立大学と国公立大学では教育の質に差がある→教員一人あたりの学生数は国公立大学の方が少ない→きめ細かい指導が可能
- ・今年のセンター試験は一番早い日程→早めの準備が必要。プラス思考で見ると個別試験、私大入試までの対策期間が長く取れる
- ・私立大学希望者は3教科全てを得意科目にすることが大切になる。苦手科目が1つでもあると厳しい。
- ・国公立大学希望者は苦手教科は得意科目でカバーすることが可能である。
- ・学力試験には普段の生活態度が現れる。→（例）だらしない人はマークミスが多い。
- ・センター試験の自己採点ミスは致命的→これからの模試で訓練しよう。
- ・過去問をやることの意味は「パターンに慣れる」ことにある。
- ・さまざまな入試方式と出願方法があるので注意しよう。→ネット出願のみの大学も。
- ・あきらめの悪い受験生ほど結果を出す。→私立大に受かってそこで終わりにせず、後期まで頑張れば国公立大学合格の可能性は大きくなる。
- ・17・18歳のみなさんは不可能を可能にする力を持っている。（例）ビリギャル
- ・現役生は当日まで大きく伸びる。→夏休み終了後→スランプ→9月10月3教科シフト・推薦・AO、志望大学・モチベーションもダウン・保護者も気持ち折れる①→2月私大合格→国公立大はもう・・・保護者も気持ち折れる②のパターンにしない。
- ・模試の結果は、合格可能性判定でなく「設問別得点状況」に注目し、自分の力を分析して学習計画に生かせ。
- ・今学校で勉強していることで一つも無駄なことはない。学校がど真ん中だ。あくまでも予備校は学校のプラスαに過ぎない。
- ・「くまんばち」に倣え 航空力学上飛べるはずがないくまんばちが飛べるのは「絶対に飛びたい」と思って飛ぶからです。→大学入試も同じ。自分で絶対受かってやるという気持ちがないと合格しない。

7月の行事予定



- | | |
|--|--|
| 6月30日（木）～7月5日（火）第2回定期考査 | |
| 5日（火）野球応援練習・事前指導 | |
| 9日（土）進研記述模試（全員受験、国・数・英・地歴公民・理を実施 8:30～17:50） | |
| 15日（金）推薦入試説明会（放課後） | |
| 13日（水）全校野球応援（2回戦：笠間高対多賀高の勝者、10:00 日立市民球場） | |
| ※詳細については後日連絡します。 | |
| 13日（水）保護者面談（4時間特別編成授業）～20日（水） | |
| 14日（木）後期生徒会役員選挙 | |
| 16日（土）水戸二高課題研究発表会（理数科） | |
| 21日（木）学年集会⑥ | |
| 22日（金）集会 | |
| 23日（木）SS課題研究発表会（理数科）夏季休業（～8月29日（月）） | |
| 25日（月）～8月13日（土）夏季課外（希望者） | |
| 31日（日）河合マーク校外模試（全員受験・茨城大学会場） | |
| ※リスニングで初めてICプレーヤーを使用しますので欠席はしないで下さい。 | |



※7月の学習室開放は、2日（土）16日（土）23日（土）30日（土）です。
スクールカウンセラー来校は、4日（月）21日（火）です。

※本日配布した夏季課外の希望締切は7月5日（火）です。期限厳守で希望者は提出して下さい。